

## ■ 基本理念

海王交通株式会社は、輸送の安全確保が最も重要であることを自覚し、法令の遵守はもとより、安全に関して継続的改善を行い、環境に配慮した運転と、「安全安心」を基本に、より快適な旅を提供し、地域の皆様から信頼される旅客企業を目指します。

## ■ 運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

# 安全方針「安全最優先」

海王交通株式会社 代表取締役 福田 剛平

### 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

(1) 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たしてまいります。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど、現場の状況に十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底してまいります。

(2) 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（Plan Do Check Act）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することで、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

## 2. 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守いたします。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有いたします。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを適確に実施いたします。

## 3. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

### 4ゼロ運動

- 1.車内事故ゼロ (人身事故をなくす)
- 2.構内事故ゼロ (無駄な事故をなくす)
- 3.追突事故ゼロ (不注意による事故をなくす)
- 4.飲酒・酒気帯び運転ゼロ (飲酒運転防止)

### ヒューマンエラー3ゼロ運動

1. 早発ゼロ・2.経路間違いゼロ・3.バス停間違いゼロ (ヒューマンエラー防止)

4ゼロ運動と3ゼロ運動(ヒューマンエラー防止)を基本目標とし、以下の各項目に努めてまいります。

#### (1) 事故件数の減少

「自ら事故を起こさない・他の事故に巻き込まれない」という防衛運転に徹し、漫然運転や車内・外における人身事故の未然防止などに取り組み、事故の減少に努めてまいります。

(2) 飲酒・酒気帯び運転の撲滅

飲酒運転がもたらす悲惨な事故を肝に銘じ、勤務内外に関わらず、「飲酒・酒気帯び運転は絶対しない、させない」という強い心で、飲酒・酒気帯び運転の撲滅を図ります。

飲酒の数値が検知された場合は、その日 1 日は乗務をさせません。

また、貸切バス業務などでやむを得ず遠隔地等にて点呼が行われる場合は、携帯用検知器を持参させるなどして検知の徹底実施に努めます。

(3) 安全確認呼称の励行

扉開閉の確認、発進時及び交差点右左折や車線変更等走行中の確認、終点毎の車内確認など、あらゆる安全について確認の呼称を行い、安全輸送の完遂に努めます。

(4) コンプライアンス意識の更なる向上

バス事業は、道路運送法をはじめとする自動車関係法を遵守することで成り立っていることを、社長以下全社員が念頭におき、更なる意識向上に努めます。

4. 自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故統計

令和 7 年度 (単位: 件)	車外人身事故	車内人身事故
海王交通株式会社	0	0

※令和 8 年 3 月 31 日現在の実績

5. 安全管理規定

別紙【安全管理規定】参照